

平成21年 4 月

## 浪速区政モニターアンケート報告書

「健康・保健衛生」「住宅用火災警報器」について

### 1 調査の目的

大阪市では、「一人ひとり」が地域の様々な資源を活用し、自らの意思に基づいて健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、条件整備を図っています。特に、いつまでも健康で日常生活を過ごすためには、運動や食事などの毎日の生活習慣が大切といわれています。

また、近年、住宅火災により亡くなる方が増加しており、その原因として「逃げ遅れ」の割合が非常に高くなっています。このような背景から平成16年に消防法が改正され、一般の住宅（マンション等の共同住宅を含みます。）に、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

そこで、区民の皆さんの今後の健康づくりの推進及び住宅防火啓発に関する事業の参考とするためにアンケートを実施しました。

### 2 調査の実施状況

平成21年 4 月23日開催のモニター連絡会で質問書を配布、欠席者には送付し、提出期限を 5 月11日として回答を求めたところ、54名のうち、47名から回答があり、回答率は、87.0%でした。

### 3 浪速区政モニターの構成

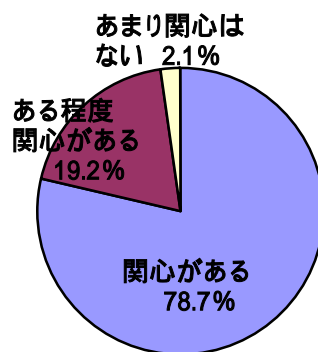
区内在住モニター 42名、区外在住モニター 12名

浪速区役所 総合企画担当

(1) 健康・保健衛生について

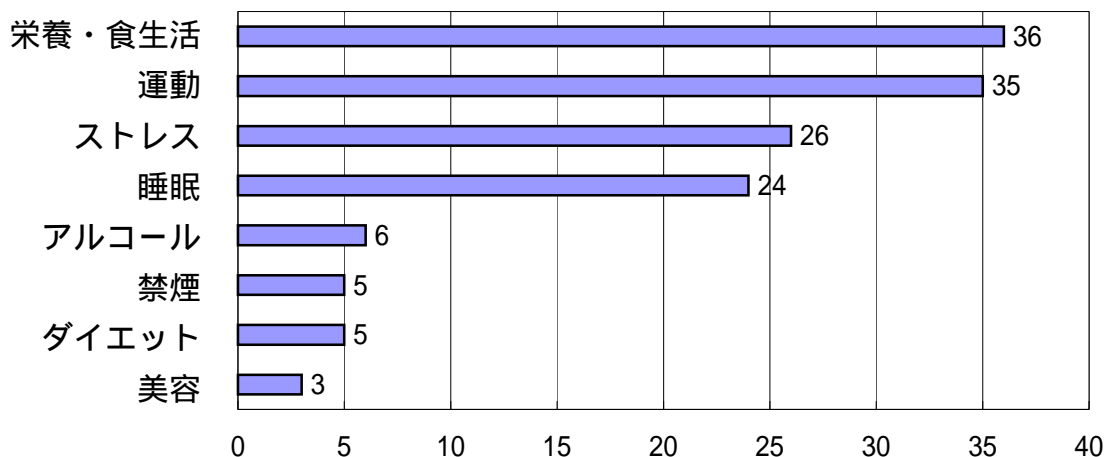
問1 がん、心臓病、脳卒中などの生活習慣病に対する関心はありますか。

関心がある	37(78.7%)
ある程度関心がある	9(19.2%)
あまり関心はない	1( 2.1%)
関心はない	0( 0.0%)
回答数	47



問2 健康づくりで関心のあるものは何ですか。次の中から3つ選んでください。

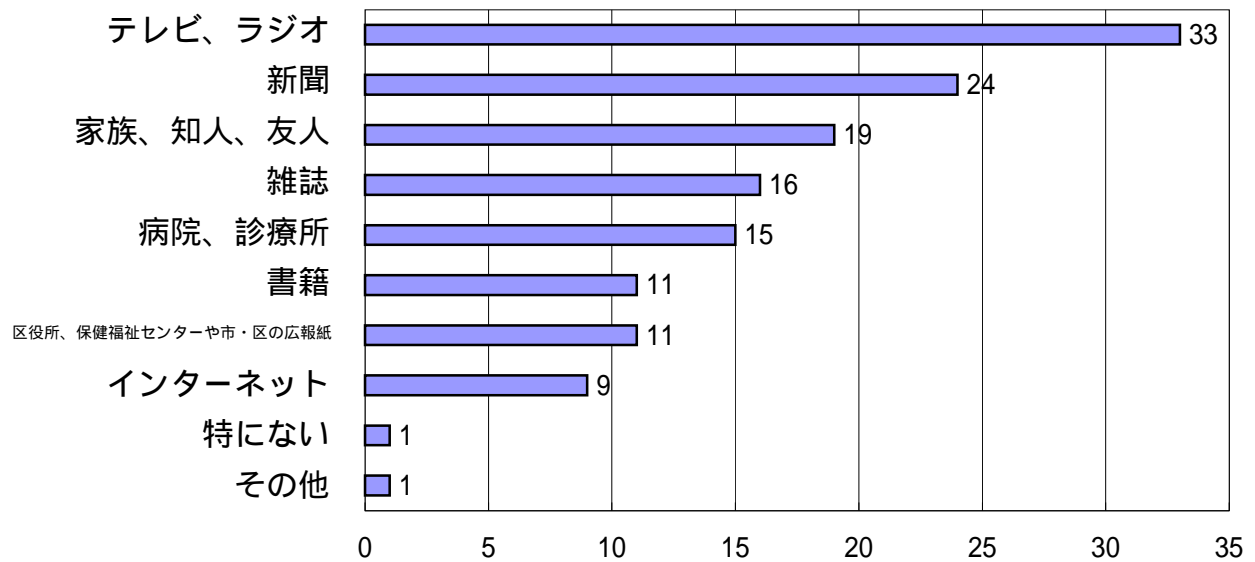
運動	35	睡眠	24	ストレス	26	栄養・食生活	36
サプリメント	0	禁煙	5	アルコール	6	ダイエット	5
美容	3	その他	0				



問3 健康づくりに関する情報は主に何から得ていますか。次の中から3つ選んでください。

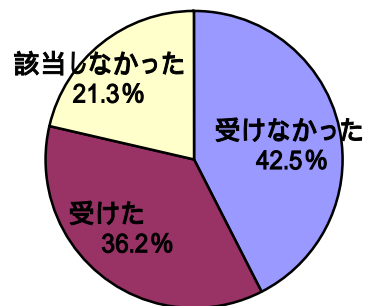
テレビ、ラジオ	33	新聞	24	書籍	11	雑誌	16
インターネット	9	病院、診療所	15	薬局、薬店	0		
家族、知人、友人	19	区役所、保健福祉センターや市・区の広報紙	11				
特にない	1	その他	1				

その他として、「生協（コープ）のちらし」という回答がありました。



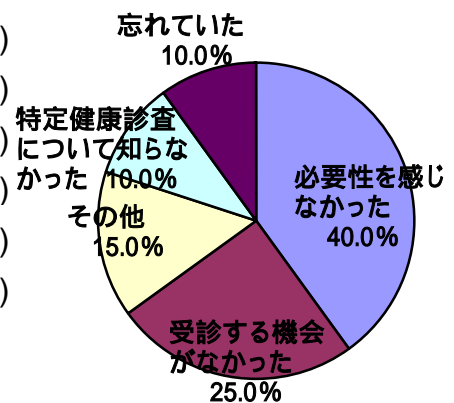
問4 平成20年度から、40歳から74歳の方を対象にメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を予防するために「特定健康診査・特定保健指導」が実施されていますが、あなたは昨年度受けましたか。

受けた	17(36.2%)
受けなかった	20(42.5%)
該当しなかった	10(21.3%)
回答数	47



問5 問4で〔受けなかった〕とお答えの方にお尋ねします。その主な理由は何ですか。

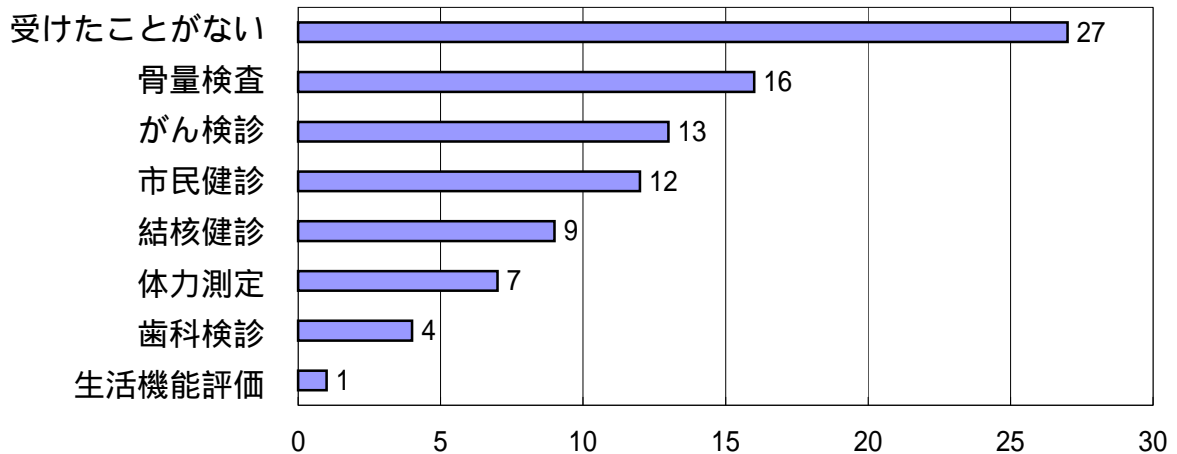
特定健康診査について知らなかった	2(10.0%)
受診する機会がなかった	5(25.0%)
忘れていた	2(10.0%)
必要性を感じなかった	8(40.0%)
関心がない	0(0.0%)
その他	3(15.0%)
回答数	20



その他として、「他の病気の検査が多くて」「会社の健康診断で受けている」といった回答がありました。

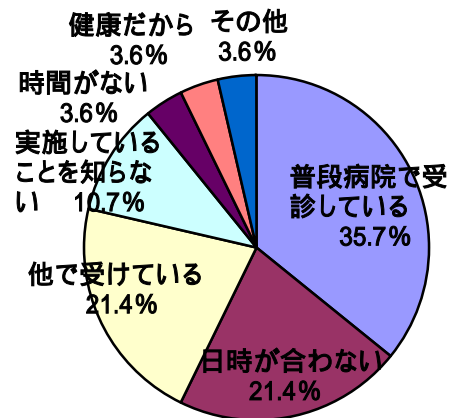
問6 これまでに保健福祉センターが実施している次の検診・健診事業を受けたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

がん検診	13	市民健診	12	体力測定	7	骨量検査	16
結核健診	9	生活機能評価	1	歯科検診	4		
受けたことがない	27						



問7 問6で〔 受けたことがない 〕とお答えの方にお尋ねします。その主な理由は何ですか。

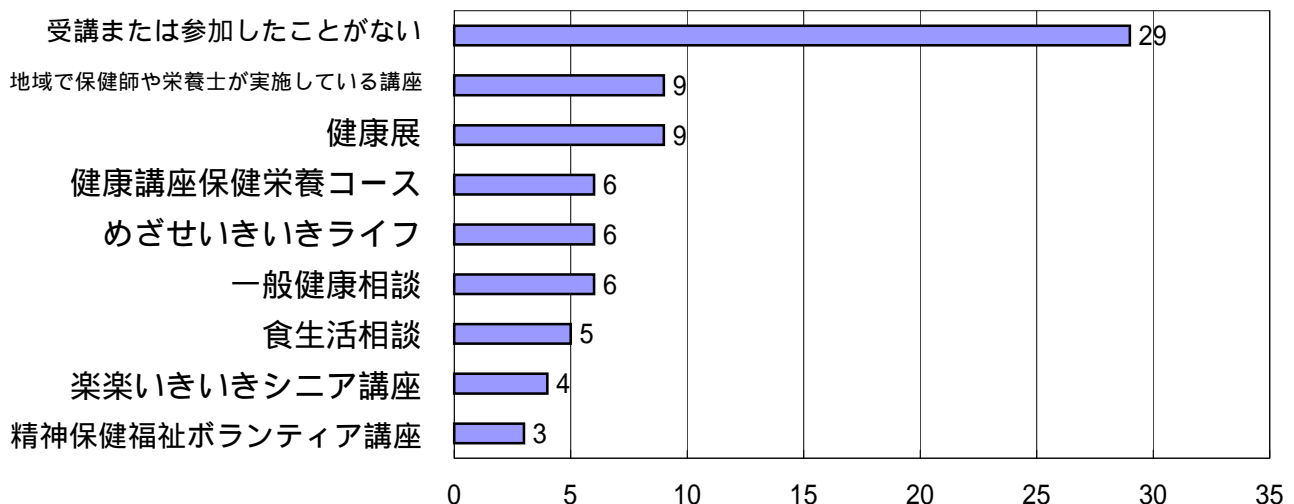
時間がない	1( 3.6%)
日時が合わない	6(21.4%)
健康だから	1( 3.6%)
普段病院で受診している	10(35.7%)
関心がない	0( 0.0%)
他で受けている	6(21.4%)
実施していることを知らない	3(10.7%)
その他	1( 3.6%)
回答数	28



その他は1件ありましたが、具体の回答はありませんでした。

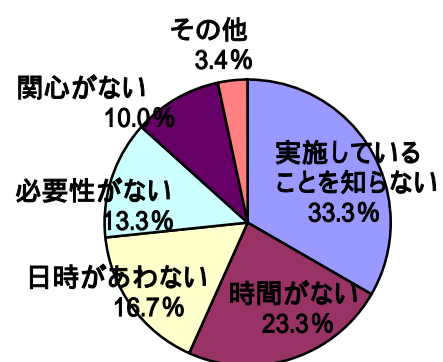
問8 これまでに保健福祉センターが実施している次の健康講座・健康相談・健康展などの事業に受講または参加したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

健康講座保健栄養コース	6	めざせいきいきライフ	6
楽楽いきいきシニア講座	4	精神保健福祉ボランティア講座	3
地域で保健師や栄養士が実施している講座	9	食生活相談	5
一般健康相談	6	健康展	9
		受講または参加したことがない	29



問9 問8で〔受講または参加したことがない〕とお答えの方にお尋ねします。その主な理由は何ですか。

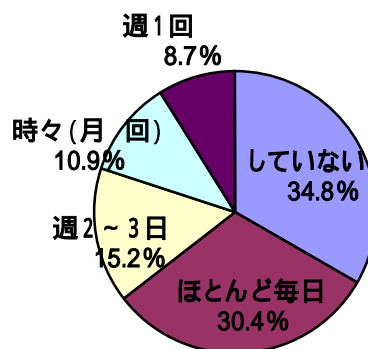
時間がない	7(23.3%)
日時があわない	5(16.7%)
関心がない	3(10.0%)
必要性がない	4(13.3%)
実施していることを知らない	10(33.3%)
その他	1(3.4%)
回答数	30



その他として、「関心が薄かったので反省しています」といった回答がありました。

問10 半年以上継続的に運動をしていますか。

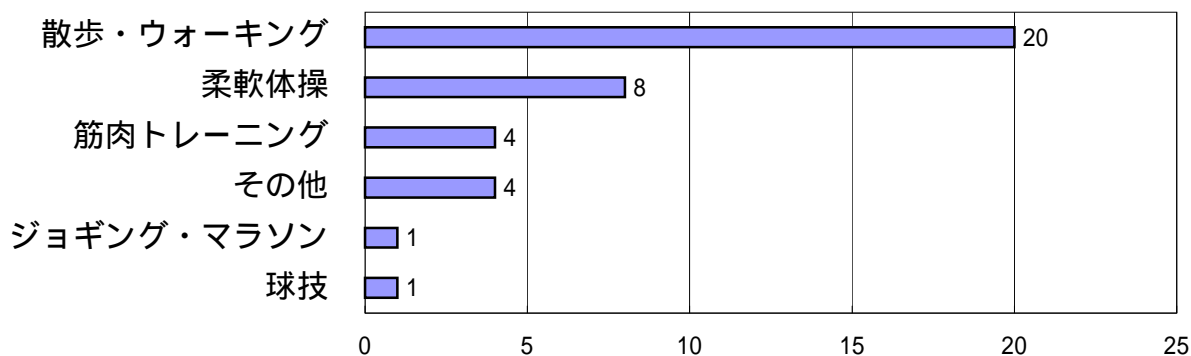
ほとんど毎日	14(30.4%)
週2～3日	7(15.2%)
週1回	4(8.7%)
時々(月回)	5(10.9%)
していない	16(34.8%)
回答数	46



問11 問10で〔 〕とお答えの方にお尋ねします。どのような運動をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

散歩・ウォーキング	20	ジョギング・マラソン	1	柔軟体操	8
筋肉トレーニング	4	水泳	0	球技	1
その他	4				

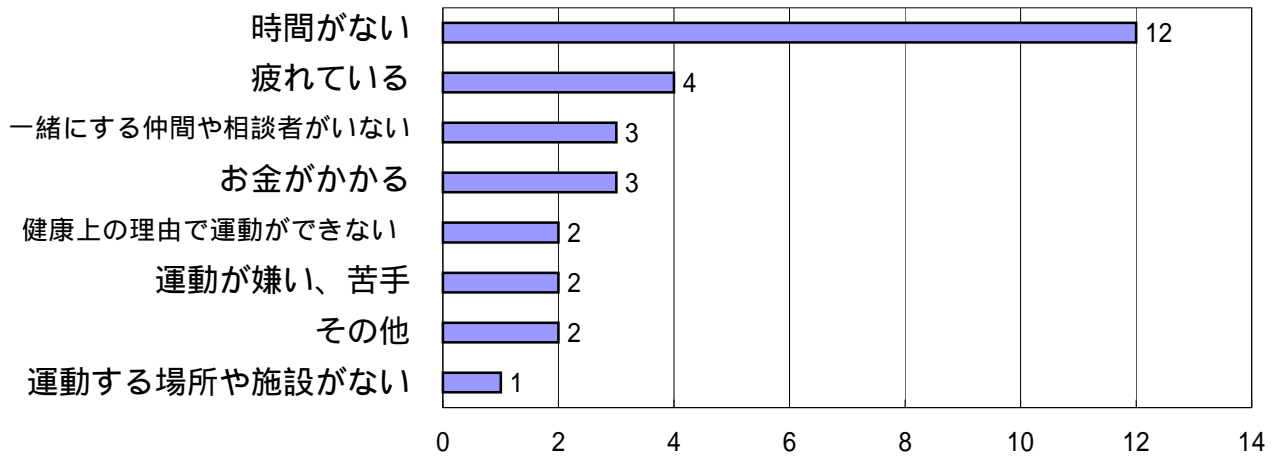
その他として、「コアリズム」「自転車」「スケート」「エアロ」といった回答がありました。



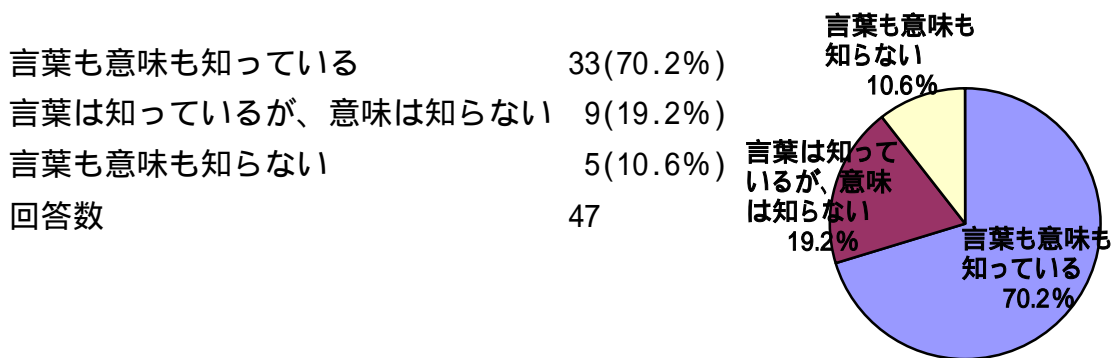
問12 問10で〔 〕とお答えの方にお尋ねします。その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

健康上の理由で運動ができない	2	運動する場所や施設がない	1		
時間がない	12	疲れている	4	一緒にする仲間や相談者がいない	3
お金がかかる	3	運動が嫌い、苦手	2	その他	2

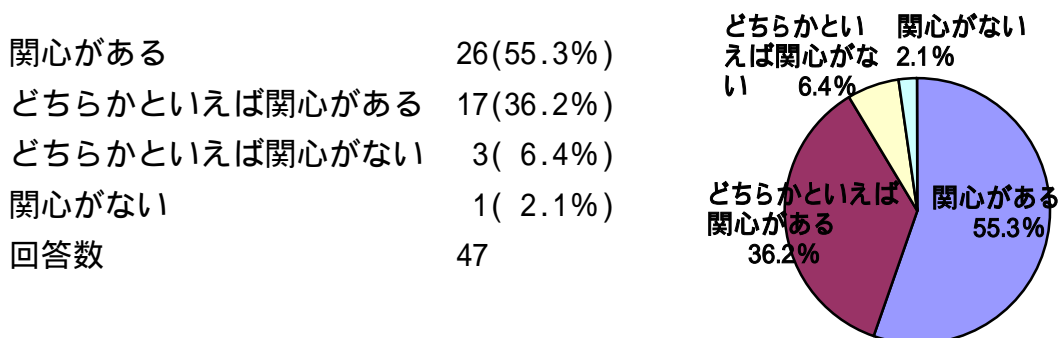
その他として、「毎朝ウォーキングをしていたが、自転車で動き回る仕事に従事するようになったので、ウォーキングを中止しました」といった回答がありました。



問13 食育という言葉やその意味を知っていましたか。



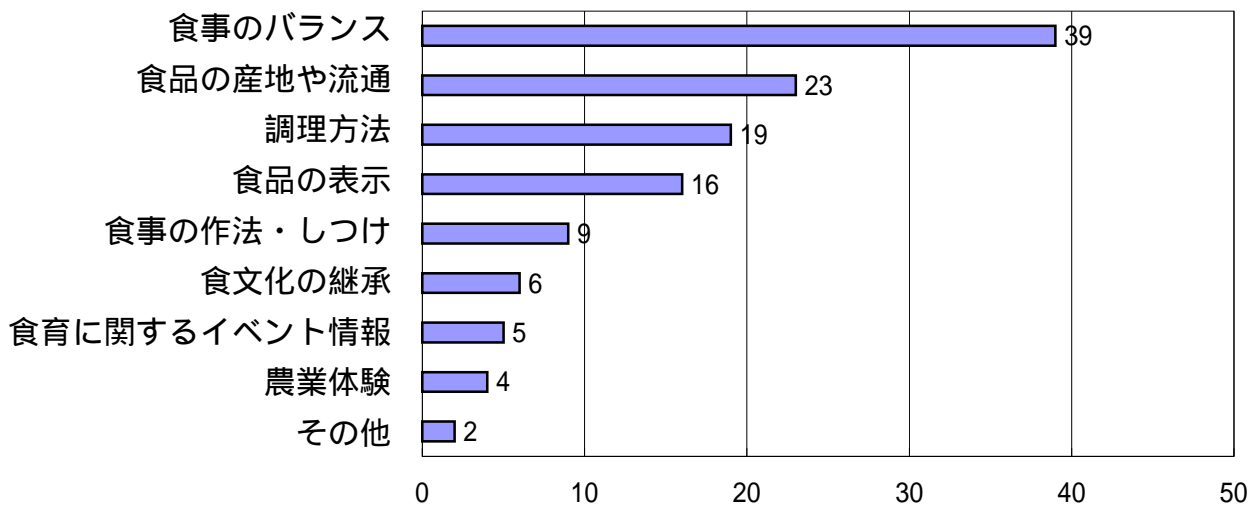
問14 食育に関心がありますか。



問15 問14で〔 〕とお答えの方にお尋ねします。食育の中で特に関心があることは何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

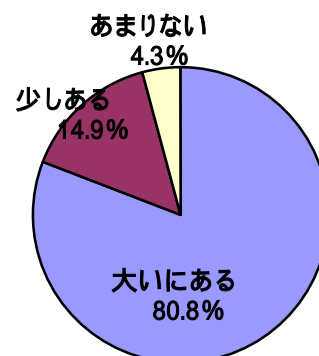
食事のバランス	39	調理方法	19	食事の作法・しつけ	9
食品の表示	16	食品の産地や流通	23	農業体験	4
食文化の継承	6	食育に関するイベント情報	5	その他	2

その他として、「栄養士で調理師でもあるため、食に関する事は全てに関心を持っています」といった回答がありました。



問16 今後発生が心配される「新型インフルエンザ」に関心がありますか。

大いにある	38(80.8%)
少しある	7(14.9%)
あまりない	2(4.3%)
ない	0(0.0%)
回答数	47



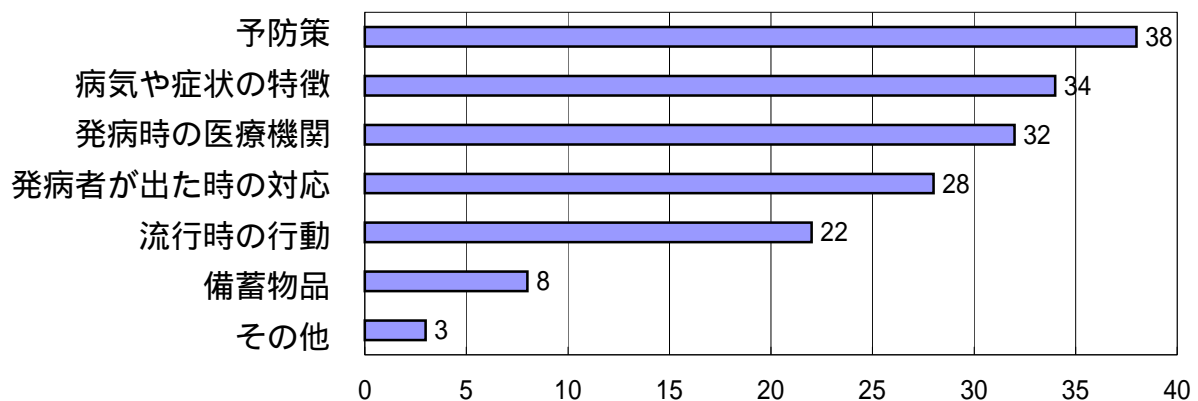
問17 新型インフルエンザの発生や流行に備えてどのような物品を備蓄されていますか。備蓄している物品に をして、その備蓄量は何日分か記入してください。  
 なお、災害時の備蓄物品と重複していてもかまいません。

物品リスト	回答数	備蓄量 (最短・最長)
米・麺類	29	5～60日分
菓子類	16	1～10日分
レトルト食品・インスタント食品	26	1～20日分
缶詰	19	1～10日分
水	22	1～30日分
ペットボトル飲料	18	1～14日分
マスク	29	2～60日分
体温計	29	-
ゴム手袋	19	1～30日分
常備薬	21	3～60日分
消毒用アルコール	13	1～30日分
水枕・氷枕	15	-
ビニール袋	28	3～60日分
トイレトペーパー、ティッシュペーパー	37	3～60日分
洗剤(台所・洗濯用)	32	3～90日分
生理用品類	9	3～90日分
その他(餅、ソーメン、冷凍食品)	2	

問18 新型インフルエンザについて、今、どのような情報が必要ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

病気や症状の特徴	34	予防策	38	発病者が出た時の対応	28
発病時の医療機関	32	流行時の行動	22	備蓄物品	8
その他	3				

その他として、「ワクチンがいつできるのか、どこで手に入るのか」といった回答がありました。



問19 健康づくり、病気の予防や健康診断などに関して、ご意見があればお書きください。

19人から多数のご意見が寄せられました。

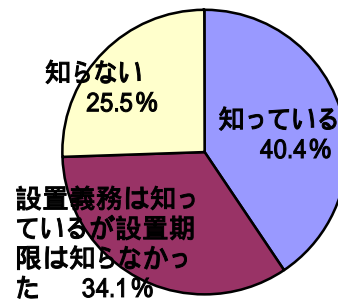
「出来るだけ食育に関心を持ち、自分の家族の食事は自分で作る」「日常生活を規則正しく、バランスの良い食事、運動等を行い、ストレスをためないように前向きに生活する」「病気の症状が感じられたら早めに病院へ行く」といった自衛策に関するご意見が8件、「区役所で実施している健康診断を、若くても安く受けられるようにしてほしい」「近所がある程度まとまって健康診断等受けられるような体制づくりがいないか」といった健康診断に関するご意見が4件ありました。

さらに、「例えば「なでしこ」に健康づくりコーナーを創設し、シリーズもので掲載する」といった広報に関するご意見が3件あったほか、「仕事を持っていると平日には参加しにくいので、土日などで気軽に参加できる講座やスポーツ、又はヨガや気孔などがあればいいと思う」といったご意見もありました。

## (2) 住宅用火災警報器について

問20 住宅用火災警報器の設置は、平成18年6月1日から一般の住宅（マンション等の共同住宅を含みます）への設置が義務付けられ、既存の住宅も平成23年5月31日までに設置しなければなりません。このことをご存じですか。

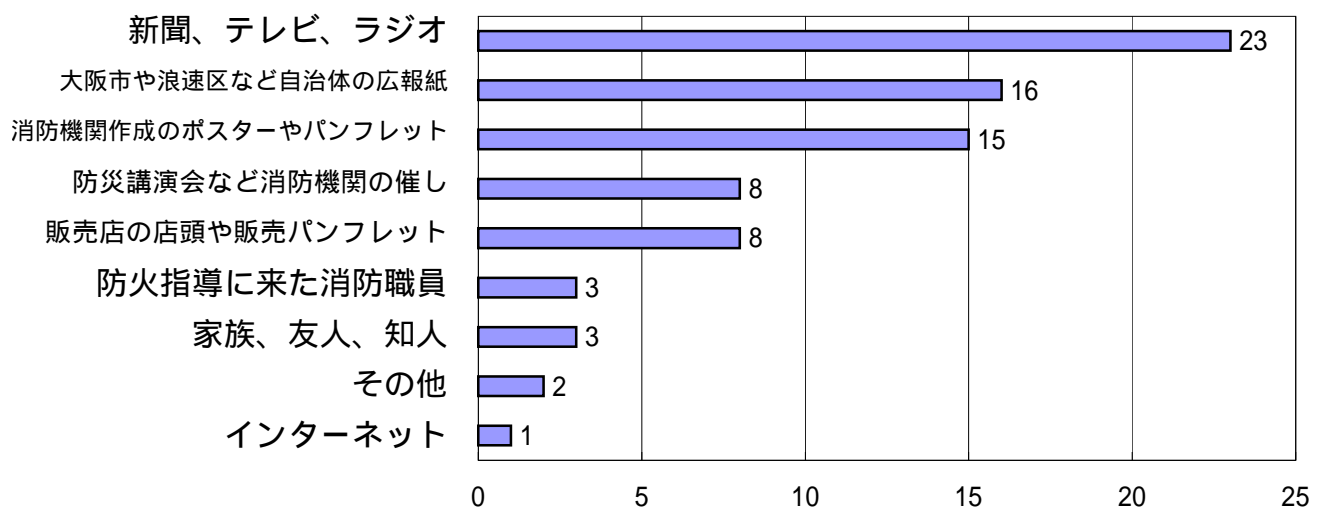
知っている	19(40.4%)
設置義務は知っているが 設置期限は知らなかった	16(34.1%)
知らない	12(25.5%)
回答数	47



問21 問20で〔 又は 〕とお答えの方にお尋ねします。住宅用火災報知器の設置が義務付けられたことを、何を通じて知られましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

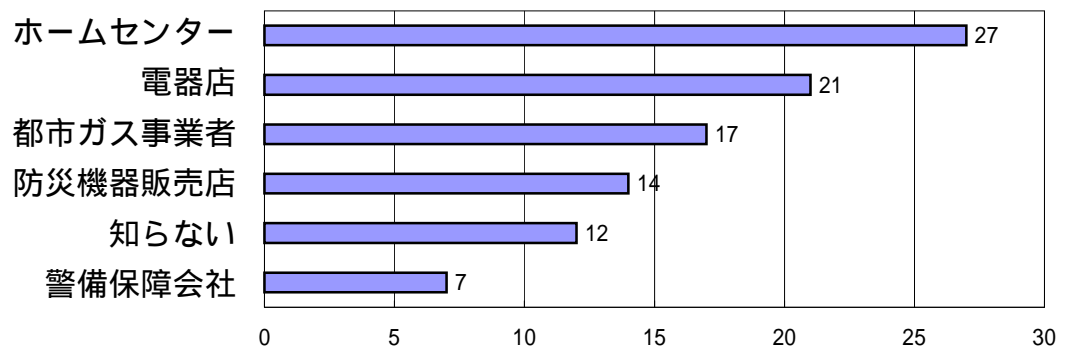
新聞、テレビ、ラジオ	23	大阪市や浪速区など自治体の広報紙	16
消防機関作成のポスターやパンフレット	15	インターネット	1
防災講演会など消防機関の催し	8	防火指導に来た消防職員	3
家族、友人、知人	3	販売店の店頭や販売パンフレット	8
その他	2		

その他として、「都市整備公団」といった回答がありました。



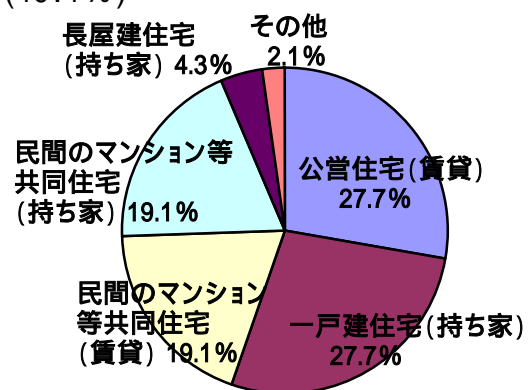
問22 住宅用火災警報器を取り扱っている販売店や業者のうち、ご存じのものをすべて選んでください。

電気店	21	ホームセンター	27	都市ガス事業者	17
警備保障会社	7	防災機器販売店	14	知らない	12
その他	0				



問23 現在の住居は、どのような種類ですか。

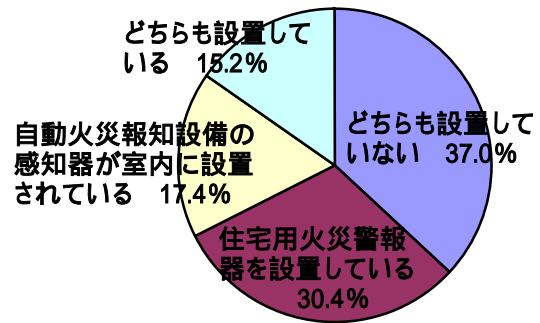
民間のマンション等共同住宅（賃貸）	9(19.1%)
民間のマンション等共同住宅（持ち家）	9(19.1%)
公営住宅（賃貸）	13(27.7%)
公営住宅（持ち家）	0(0.0%)
一戸建住宅（賃貸）	0(0.0%)
一戸建住宅（持ち家）	13(27.7%)
長屋建住宅（賃貸）	0(0.0%)
長屋建住宅（持ち家）	2(4.3%)
その他	1(2.1%)
回答数	47



その他として、「UR都市機構（賃貸）」といった回答がありました。

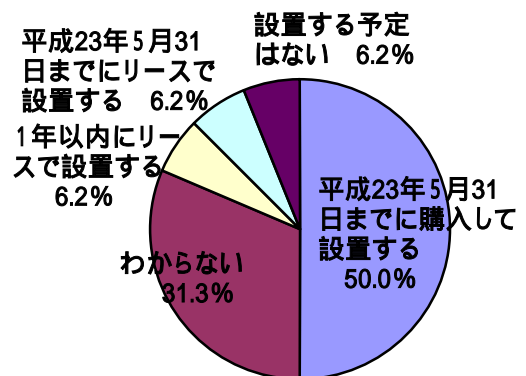
問24 現在の住居には、住宅用火災警報器又は自動火災報知設備が設置されていますか。

住宅用火災警報器を設置している	14(30.4%)
自動火災報知設備の感知器が室内に設置されている	8(17.4%)
どちらも設置している	7(15.2%)
どちらも設置していない	17(37.0%)
回答数	46



問25 問24で〔 どちらも設置していない〕とお答えの方にお尋ねします。今後の住宅用火災警報器の設置について、どのように考えていますか。

1年以内に購入して設置する	0(0.0%)
1年以内にリースで設置する	1(6.2%)
平成23年5月31日までに購入して設置する	8(50.0%)
平成23年5月31日までにリースで設置する	1(6.2%)
設置する予定はない	1(6.2%)
わからない	5(31.3%)
その他	0(0.0%)
回答数	16



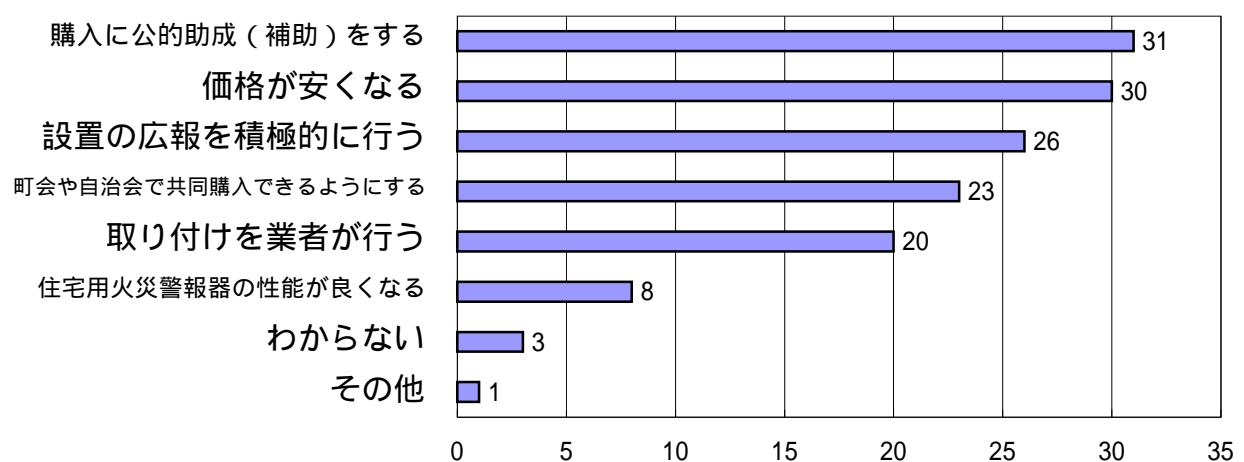
問26 問25で〔 設置する予定はない〕とお答えの方にお尋ねします。設置する予定のないと考える理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

設置が義務付けられたことを知らなかった	0
家主など建物所有者が設置すると考えている	0
販売店や取扱店がわからない	1
自分では取り付けできない	0
効果に疑問を感じている	0
値段が高い	0
その他	0

問27 住宅用火災警報器の設置率を向上させるためには、どのようなことが効果的だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

設置の広報を積極的に行う	26	価格が安くなる	30
購入に公的助成（補助）をする	31		
町会や自治会で共同購入できるようにする	23		
取り付けを業者が行う	20		
住宅用火災警報器の性能が良くなる	8		
わからない	3	その他	1

その他として、「セールスをしてもらわないとわからない」といった回答がありました。



問28 住宅用火災警報器の設置に関して、ご意見があればご記入ください。

19人から多数のご意見が寄せられました。

「専門業者の斡旋と設置期間を定める」「取付業者を紹介してほしい」「どこで購入したらよいかわからないので教えてほしい」といった取付にあたっての意見が4件、「町会や自治会等で共同購入していただければ高齢者は助かる」「町会、自治会がもっと積極的に取り組んでほしい」といった町会としての取組みに関する意見が3件、「あまりに高いと考えます」「役所から安く斡旋する型なら普及も早いと思う」といった価格に関する意見が3件ありました。

さらに、「火災報知器の設置が義務付けされていたなんて、全然知りませんでした」「警報器の設置についても知らない人もいるのでは」といった区民の認知度に関する意見が2件、「マンション入居時にいろいろと説明してほしい」といった意見が2件ありました。

その他、「いたずらでベルを鳴らす人がいて困る」「ベルが鳴っても通報しない限り何も起こらないのでは意味がない気がする」「高齢者が誤ってベルを鳴らしてしまうことがあるし、耳が遠く警報器のベルが聞こえない方もおられるので、そんな方たちへの対策もお願いしたい」、「火災時における煙やガスの恐ろしさを、もっと周知教育する必要があると思う」といった意見がありました。